

Google for Education

教師と生徒のためのソリューション

教師と生徒のためのソリューション

テクノロジーが教育と学びを変革しています。

テクノロジーにより、子どもたちは自分のペースで学習できるようになり、問題解決と効果的なコラボレーションのスキルを身に付けています。

しかし、テクノロジーにアクセスできない生徒もいることから、既存の教育格差がさらに広がっていることも事実です。

ですから、Google は今後も、すべての生徒が質の高い教育を受けて必要なスキルを習得できる未来に向けて、Google のサービス、スタッフ、プログラム、慈善事業の提供と運営を継続していきます。



「テクノロジーだけで
教育を改善できるわけではありませんが、
ソリューションとして
有効な手段の1つになり得ます。」

スンダー ピチャイ
Google CEO

Chromebook と G Suite for Education で、効果的で持続的な 1 人 1 台環境を実現

Society 5.0 時代を生きる子どものための、令和時代のスタンダードな学校像
その一つが、個別最適化された学びを持続的に実現するための 1 人 1 台環境

なぜ今、子どもの学びにテクノロジーが必要なのか

グローバル化が進み、複雑で変化の激しい社会において、子どもたちは、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現するための「生きる力」を身につける必要があります。

「生きる力」の育成により注力した新学習指導要領において、情報活用能力※は、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられています。

そして、情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること、と示されています。

※世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力。



文部科学省が補正予算事業で 1 人 1 台環境整備を後押し

文部科学省はこれまでに、「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画（2018～2022 年度、単年度 1805 億円）」として、ICT 環境整備への地方財政措置を講じてきました。これは 3 クラスに 1 クラス分の端末整備を目指したものでしたが、2019 年 12 月に新たに「GIGA スクール構想」を発表し、令和の時代における学校のスタンダードとして、1 人 1 台端末環境とクラウド活用を打ち出しました。

これに伴い、地財措置に加えて、2318 億円の補正予算（2019 年度）を組み、教育の情報化を後押ししています（当該補正予算事業は 2019～2023 年度の 5 年、総事業額は約 4000 億円予定）。

補助対象となる、児童生徒用端末（1 台当たり 4.5 万円）、高速大容量の通信ネットワークという要件からも、「子どもたち 1 人 1 人がクラウド活用を前提とした学習環境」を持続的に実現しようとする意思が伺えます。

「GIGAスクール構想」(文部科学省補正予算事業 2019～2023年度)

事業概要

(1) 校内通信ネットワークの整備



希望する全ての国公私立小・中・特支・高等学校等における校内 LAN を整備
加えて、国公私立小・中・特支等に電源キャビネットを整備

(2) 児童生徒 1 人 1 台端末の整備



国公私立小・中・特支等の児童生徒が使用する PC 端末を整備

(2) についての事業スキーム

公立 民間団体(執行団体)

補助対象：都道府県、政令市、
その他市区町村
補助割合：定額 (4.5万円)

※市町村は都道府県を通じて
民間団体に申請、
国は民間団体に補助金を交付

私立

補助対象：学校法人
補助割合：1/2 (上限 4.5万円)

国立

補助対象：国立大学法人
補助割合：定額 (4.5万円)

措置要件

- 「1 人 1 台環境」における ICT 活用計画、さらにその達成状況を踏まえた教員スキル向上などのフォローアップ計画
- 効果的・効率的整備のため、国が提示する標準仕様書に基づく、都道府県単位を基本とした広域・大規模調達計画
- 高速大容量回線の接続が可能な環境にあることを前提とした校内 LAN 整備計画、あるいはランニングコストの確保を踏まえた LTE 活用計画
- 現行の「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画（2018～2022 年度）」に基づく、地方財政措置を活用した「端末 3 クラスに 1 クラス分の配備」計画

学習者用端末の標準仕様

●Google Chrome OS

- ▶OS：Google Chrome OS
- ▶CPU：Intel Celeron 同等以上
2016年8月以降に製品化されたもの
- ▶ストレージ：32GB
- ▶メモリ：4GB
- ▶画面：9～14インチ

●3OS共通仕様

- ▶無線 IEEE 802.11a/b/g/n/ac 以上
- ▶Bluetooth 接続できないハードウェアキーボード
- ▶音声接続端子：マイク・ヘッドフォン端子
- ▶外部接続端子：1つ以上
- ▶バッテリー：8時間以上
- ▶重量：1.5kg 未満
- ▶タッチパネル対応
- ▶インカメラ or アウトカメラ

●Microsoft Windows

- ▶OS：Microsoft Windows 10 Pro
- ▶CPU：Intel Celeron 同等以上
2016年8月以降に製品化されたもの
- ▶ストレージ：64GB
- ▶メモリ：4GB
- ▶画面：9～14インチ

●iPadOS

- ▶OS：iPadOS
- ▶ストレージ：32GB
- ▶メモリ：4GB
- ▶画面：10.2～12.9インチ

●保証

- ▶原則1年
- ▶センドバック方式(2週間程度で返却)
- ▶端末不調時の予備を常備

教育向けに設計され、授業向けに開発された
軽量で耐久性の高い共有可能なノートパソコン

Chromebook で生徒主体の効果的な学びを促す

Chromebook は創造とコラボレーションに役立ち、シンプルかつ安全で、共有に適した端末として開発されました。使うアプリはすべてウェブベースなので、ソフトウェアは不要です。導入後も、拡張機能や自動更新、多層型セキュリティの機能により、Chromebook は常に改善され続けます。



数字で見る Chromebook

教育用パソコンとして、アメリカをはじめ世界各国で
トップシェアをもつ Chromebook は、手頃な価格と
一元的な端末管理で、コストを大きく削減します。

教育用パソコンとしての
世界のユーザー数
4,000 万人

パソコンの管理に
関わる時間
59% 削減 *

他のパソコンと比べた
3年間のトータルコスト
57% 削減 *

*2019 IDC Whitepaper

Chromebook の特徴

起動が速く、バッテリーは長持ち

起動は 10 秒以内。長時間駆動バッテリーを備えているので、1 回の充電で終日利用できます。メモリ不足による速度低下は一切なく、操作は快適です。

安心のセキュリティ環境

最新の OS に自動更新されるため、セキュリティは常に万全です。また、端末にデータを残さないで、情報漏洩の心配はありません。

多彩な形状、サイズ、価格

耐久性があり、予算に合わせて選べる幅広い価格帯も魅力です。サイズや形状も豊富にあるため、学校のニーズに適した端末を見つけられます。

どこにいても学習に集中できる

オンラインでもオフラインでも、生徒はあらゆる端末から課題にアクセスできます。生徒の集中力が妨げられないように、設定を調整することでサポートもできます。

生徒同士で端末を簡単に共有

Google アカウントにログインするだけで、個人の設定や拡張機能のすべてが自動的に適用されるので、共有パソコンとして最適です。

一元的な設定・管理

Chrome Education Upgrade の管理コンソールを使用すれば、1 台の端末から同じドメインのすべての端末を遠隔で管理、設定できます。

※詳細は 9 ページをご覧ください。

プログラミング教育の手厚いサポート

Chromebook は、外部プログラミング教材との連携や、さまざまなプログラミングコンテンツの利用が可能です。これにより、生徒の「プログラミング的思考」の育成に貢献します。また、Google for Education では文部科学省「未来の学び プログラミング教育推進月間（通称：みらプロ）」のコンテンツサポートをさせていただいております。

▶ 詳細はこちら：https://mirapro.miraino-manabi.jp/lp_google.html



町田市立町田第三小学校での AI×プログラミング授業の様子

Chromebook についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら：<https://edu.google.com/products/chromebooks>

Chrome Education Upgrade

1つの端末から同じドメインのすべての Chromebook を設定
シンプルなクラウド型管理コンソール

端末管理にかかる時間を削減

Chrome Education Upgrade は、1つの端末から同じドメインのすべての端末を設定できる、管理コンソールです。何百台、何千台の Chromebook も、数回のクリックだけで簡単に管理できます。



Chrome Education Upgrade の特徴

クラウドから 端末を簡単に管理

管理者は、管理コンソールを使ってネットワーク上のどの端末に対してもアプリやソフトウェアを有効、無効にできます。拡張機能の追加も容易です。

200 以上の カスタマイズ可能なポリシー

Wi-Fi 設定や、承認済みユーザーへのアクセス制限、公開セッション設定など、目的に合わせてカスタマイズできるので、希望どおりの体験を実現できます。

24 時間年中無休体制の サポート

Chrome Education Upgrade を導入すると、ヘルプが必要なときには、いつでもサポートを利用できます。永続ライセンスです。



私たちは、端末管理時間を 70% 以上短縮していると言えるでしょう。
これを他の端末で実施しようとしたら、スタッフをほぼ倍増しなければならないでしょう。
現在、すべての端末が揃いましたが、管理について話しているのを聞いたことがありません。

IDC 白書、「The Economic Value of Chromebooks for Educational Institutions」

Chrome Education Upgrade の主な機能

Chrome Education Upgrade の利用に、特別な知識は必要ありません。
誰でも簡単に、学校に最適な機能と端末の設定ができます。



ユーザー設定

- ・アプリや拡張機能のプッシュ
- ・Chrome ウェブストアのカスタマイズ
- ・プロキシ経由でのルーティング
- ・ユーザー体験のカスタマイズ
- ・ハードウェアの有効化 / 無効化



端末設定

- ・サインインできる人の指定
- ・登録およびアクセス制御
- ・ドメインのオートコンプライト
- ・クラウド プリントの有効化
- ・キオスクアプリのプッシュアウト



公開セッション設定

- ・個人のサインインが不要
 - ・ポリシーの制御
 - ・自動ログアウト設定
- 図書館や保護者会など、共有パソコンが必要なときに便利です。



端末管理

- ・登録済み端末の追跡
- ・登録日、最終同期日の確認
- ・在庫管理と情報の一括更新

G Suite for Education

時間や場所を問わず学校全体で共同利用できる
クラウド型教育プラットフォーム

一連の教育向けツールで、学びの扉を開く

G Suite for Education は、教師による学習機会の創出、管理業務の効率化、生徒のクリティカル・シンキングの育成を可能にします。教師や生徒同士がリアルタイムで共同編集できる各ツールは単独でも力を発揮しますが、組み合わせて使用すればさらに効果的です。



G Suite for Education の特徴

クラスを簡単に管理



Google Classroom を使うと、課題の作成から配布、進捗の把握、フィードバック、成績管理まで1か所で行えるため、指導と学習の管理をシンプルにできます。フォームは、大勢の意見をリアルタイムで集計、可視化でき、テストの作成や自動採点機能も備えています。

確実な管理



管理コンソールによる管理の一元化により、設定や管理の効率が上がります。また、生徒の追加、端末の管理、セキュリティなどの設定を簡単に行えるため、G Suite for Education のデータは常に安全が確保されます。

場所を問わずに共同編集が可能



Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライドは、リアルタイムで共同作業ができるので、グループ学習など生徒主体の教育に最適です。またファイルにコメントを残して、教師と生徒が直接フィードバックのやり取りをすることも可能です。データは容量無制限のドライブに安全に保管され、いつでも、どの端末からでもアクセスできます。

すべてのタスクを管理



Keep を使えば、アイデアやToDoを簡単に記録できます。メモを他の人に共有し、リマインダーを設定することもできます。スケジュールの管理は、自分のカレンダーをクラスや教育機関のメンバーと共有したり、共同カレンダーを作成すれば簡単になり、会議の予約などにも役立ちます。

最適な方法でのコミュニケーション



Gmail なら教育機関全体のメールシステムを設定でき、安全にメールをやり取りできます。Hangouts Meet を活用すれば、ビデオ通話とメッセージ機能で、校外でも生徒の学習を支援できます。国内外につながるため、海外にいる教師との英会話も可能です。ウェブサイト構成ツールであるサイトは、カリキュラムの掲載、生徒の創作活動などに利用できます。

G Suite for Education についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら : <https://edu.google.com/products/gsuite-for-education>

Google Classroom

教師と生徒向けに構築された
学習プラットフォーム

より効果的かつ有意義で、コラボレーションに基づく指導を

Google Classroom は G Suite for Education に含まれる、教育者の協力のもとに構築された、無料の学習プラットフォームです。クラスの作成、課題の出題と採点、フィードバックの提供などを 1 か所で行うことができ、教師と生徒のコミュニケーションの促進に役立ちます。



Google Classroom の特徴

管理業務を効率化

Google Classroom は設定が簡単で G Suite for Education と連携するため、教師は反復的な作業を効率化し、生徒の指導により専念することができます。

無料で利用できる最高水準の学習管理ツール

Google Classroom は G Suite for Education に含まれる他のツールと同様に、無料で利用でき、高いセキュリティ基準を満たしています。

いつでもどこでも、どの端末でも作業が可能

Google Classroom を使用すると、教師と生徒はどのパソコンやモバイル端末からでもログインして、クラスの課題、教材、フィードバックなどにアクセスできます。

有意義なフィードバックに充てる時間をより多く

生徒の学習状況を把握することで、必要ときに充実したフィードバックを提供できます。シンプルなワークフローで、個々の生徒に合わせたアドバイスにさらに力を注げるようになります。



Google Classroom から配布したドキュメントで、すべての生徒が同時に共同作業を行います。そして、完成したドキュメントをスクリーンに表示し、ディスカッションを促すのです。この方法なら、すべての生徒が発言し、すべての意見を取り上げることが可能です。

Daniel Brennick, 理科教師, フロリダ

ペーパーレスで課題を作成、家庭で学習、リアルタイムで確認 保護者とのコミュニケーションもサポート

Google Classroom により、教師と生徒は常に情幸及が整理され、生産性を向上できます。例えば、Google Classroom で課題を配布した後、個々の進捗状況、完了した人数をリアルタイムで確認して、生徒に成績やコメントを迅速に提供できます。クラスのトピックや課題は別のクラスにコピーできるので、作業が効率化され、時間の節約にもつながります。膨大な教材や資料は、Google Classroom の [授業] ページにまとめましょう。課題や読み物、ビデオを投稿して生徒に家庭学習を割り当て、授業の時間はディスカッションなどに充てる反転学習も実現できます。[メンバー] ページでは、保護者、生徒、副担任の管理が可能です。Google Classroom は教師、生徒だけでなく、保護者とのコミュニケーションもサポートします。



Google Classroom についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら : <https://edu.google.com/products/classroom>

Google for Education の導入サポート

初めての ICT 導入も安心
教師を支援する、さまざまなサポート体制

教育者のサポートと専門的能力の育成

教育者の認定



130か国
175,000人の認定

教育者が Google のツールを効果的に活用できるようにするために、教育者向け認定資格コースを提供しています。また、こうした教育者のトレーニングや研修をサポートするための認定プログラムも用意しています。

オンライントレーニング



16言語
800,000人が登録済み

教育者向けに、授業に役立つ無料のオンライントレーニングを用意しています。Teacher Center では、Google ツールの初めての利用から上級向けまで、目的とレベルに合わせてコースを選択できます。

トレーナーとのネットワーク



15か国以上 / 85パートナー
90か国以上 /
4,000人以上のトレーナー

個人トレーナーや、専門能力開発プログラムを提供する認定パートナーのサポートを受けることができます。Google for Education のソリューション、導入サポート、IT サポートなどを提供しています。

Google 教育者グループ (GEG)



25か国以上
355グループが活動中

テクノロジーの活用で充実した教育を実現するために、教育者同士の関係を築く場が設けられています。「学ぶ。共有する。影響し合う。能力を高める。」の4つが GEG のキーワード。日本各地の、教育者による、教育者のためのコミュニティ*の立ち上げを、Google は支援しています。

*各グループは地域のボランティア (GEG リーダー) によって管理され、企業としての Google からは完全に独立しています。

GEG についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら: <https://teachercenter.withgoogle.com/communities>



Google for Education 認定パートナー

導入の検討から、現場のニーズに合わせた Google ツールのカスタマイズ、導入後の操作や活用方法の研修まで、Google for Education 認定パートナーがサポートします。



Google for Education のトレーニングとサポートについての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら: https://edu.google.com/intl/ja_ALL/training-support/professional-development/

Google for Education 導入教育機関 / 学校

全国の教育現場で利用される Google for Education



Google の教育ソリューション

教育現場のソリューションのヒントを 公式サイトや YouTube で紹介

プロダクトやサービス、サポート、導入事例、イベント情報などを公開しています。YouTube では、世界中の Google for Education 導入校のリアルな声やチュートリアルなど、Google for Education に関するさまざまな情報を、動画で紹介しています。

Google for Education
<https://edu.google.com>

Google Cloud
<https://cloud.google.com>

Google Earth Education
<https://www.google.com/earth/education>

YouTube
<https://www.youtube.com/user/eduatgoogle>

Google for Education のオンライン トレーニングやイベントの最新情報は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら : <https://edu.google.com/latest-news/events>

教育の可能性を広げる 教育向けのツール

Google は教育向けのさまざまなツールを提供しています。Jamboard はインタラクティブなコミュニケーションを容易にし、Google Cloud Platform はデータ分析、機械学習、アプリケーション開発などのニーズに応えます。Google Expeditions は、バーチャル環境で生徒を世界中の冒険に連れていくこともできます。

Jamboard
クラウドで動作するデジタル ホワイトボード
<https://gsuite.google.co.jp/products/jamboard>

Google Cloud Platform
Google のクラウド コンピューティング サービス
<https://edu.google.com/products/google-cloud-platform>

Google Expeditions
バーチャル リアリティ型の教育アプリ
<https://edu.google.com/products/vr-ar>

お問い合わせ

Google for Education お問い合わせ事務局

電話 : 03-6384-9575 メール : gfe-jp-isr@google.com

【受付時間】9:00~18:00 月曜日~金曜日 (祝祭日、年末年始除く)

Google for Education 公式サイト
お問い合わせフォーム

▶ <https://edu.google.com/contact>

Chromebook / G Suite for Education 導入事例

「主体性・対話性で深い学び」の実現を目指す埼玉県は
G Suite for Education を県立高校全校で「学びの支援ツール」として活用。
そして Chromebook の導入へ



埼玉県 教育局
県立学校部 高校教育指導課



埼玉県立川口高等学校

学びの改革を G Suite for Education で支援。さらなる活用は Chromebook が最適

埼玉県 教育局 県立学校部 高校教育指導課では、2010 年より「学びの改革」を推進。現在、県立高等学校 139 校中 133 校、約 650 名の教員が、協調学習を取り入れた授業を実践。その学びの効果を高めるため、G Suite for Education や Chromebook を活用しています。

学びの改革担当 主事の平尾 勇樹氏は、「教員用の電子メールや生徒が授業に活用する充実したアプリなどを総合的に評価して、G Suite for Education を採用しました。また、Chromebook は、他の端末と比べ、コスト面や管理面での優位性を評価し導入

しました。」と話します。

学びの改革担当 指導主事の高井 潤氏は、導入効果の一例として、「Chromebook を使った授業を受けた生徒と、使わない生徒でテストの結果を比較したところ、Chromebook を使った生徒の平均点が約 15 点高いという検証結果が得られました。」と話しています。

埼玉県 教育局 県立学校部 高校教育指導課

学びの改革担当 指導主事 高井 潤氏
学びの改革担当 主事 平尾 勇樹氏

Google フォームによる協調学習で実践力ある ICT 人材を育成

埼玉県立川口高等学校では、2013 年より協調学習を実践しています。現在、3 年生の必修科目である「情報」を担当する安倍 孝司氏は、「ICT 活用で試行錯誤していたときに、協調学習に Google フォームが使えると考えました。」と語ります。Google フォームを使うことで、「課題を出す」「個人で考える」「同じ教材、異なる教材の複数グループで話し合う」「クラス全体で考えを共有する」「共有された答えをもとに、個人で考えをまとめる」という協調学習を効率化でき、共有された情報から、

生徒一人一人が回答を導き出すまでの過程も把握できます。

安倍氏は、「意見を交換し、協力し合いながら、自分の考えを持って授業に参加できるので、生徒の積極性も増し、より理解が深まったと感じています。生徒は、鉛筆や消しゴムと同じ感覚で、Google フォームを使えるようになりました。」と話しています。

埼玉県立川口高等学校

情報科 教諭 安倍 孝司氏

インタビュー動画はこちらから
▶ g.co/edu/saitamavideo



事例記事はこちらから
▶ g.co/edu/saitamaprint



Google for Education の世界中の導入事例を、
公式サイトでご覧いただけます。

▶ 詳細はこちら : <https://edu.google.com/case-studies>



Chromebook と G Suite for Education で未来の創り手となる子どもを育成 町田市の ICT 活用の成果を広く発信し日本の教育に貢献



東京都 町田市 教育委員会 学校教育部



東京都町田市立町田第五小学校

町田市 5 か年計画の一環として小中学校に Chromebook と G Suite for Education を導入

町田市には、小学校が 42 校、中学校が 20 校あり、教員数は約 1,850 名。現在、町田市 教育委員会では、「教育の情報化推進～ICT を活用した魅力ある授業の実施～」の一環として、小学校 19 校、中学校 9 校に、LTE 回線対応の Chromebook と G Suite for Education を導入。2018 年から 3 か年で、すべての小中学校に導入する計画です。

学校教育部 教育センター 担当課長の林啓氏は、「Chromebook は、通信料を含む 5 年間の維持費が、1 台の PC の導入コストとほぼ同じなので、コストメリットがあります。もし故障しても、ハード

ウェアの交換だけなので、管理工数も削減できます。」と話します。また、学校教育部 指導課 指導室長 兼 指導課長 金木 圭一氏は、「変化の激しい時代を生き抜く力を身に付けるためには、認知的スキルと社会情緒的スキルが欠かせません。このスキルを育むことができるのが、G Suite for Education を活用した教育です。」と話しています。

東京都 町田市 教育委員会 学校教育部
指導課 指導室長 兼 指導課長 金木 圭一氏
教育センター 担当課長 林 啓 氏

Chromebook と G Suite for Education は自分の考えを可視化する最適なツール

東京都町田市立町田第五小学校では、2018 年 9 月より、3 年性から 6 年性までの授業で Chromebook と G Suite for Education を利用しています。「face to face で対話すべきという意見もありますが、G Suite for Education を使えば、児童全員が沈黙の中で中身の濃い対話ができます。」(五十嵐校長)

6 年 1 組 担任の鈴木先生、6 年 2 組 担当の大森先生、6 年 3 組担当の余語先生は、次の様に話します。「ノートに書くことが苦手な児童が、G Suite for Education で自由に表現し、成績も向上しています。

(鈴木先生)「画面での対話が増えたことで、クラスの人間関係もよくなりました。(大森先生)」「同じ画面上で同時に共同作業ができるので、校務でも効果があります。(余語先生)」
五十嵐校長は、「今後は、いかに学習履歴を学びに生かしていくかが重要です。」と話しています。

東京都町田市立町田第五小学校
校長 五十嵐 俊子 氏 / 6 年 1 組 担任 鈴木 飛鳥 氏
6 年 2 組 担任 大森 翼 氏 / 6 年 3 組 担任 余語 亮 氏

インタビュー動画はこちら
働き方改革編
▶ g.co/edu/machidavideo



インタビュー動画はこちら
主体的な学び編
▶ g.co/edu/machidavideo2



事例記事はこちら
▶ g.co/edu/machidaprint



G Suite for Education お申し込み方法のご案内

これから G Suite for Education をお申し込みされる教育機関のためのガイドとなります。
ご登録に際して、各ステップをご参照ください。

1



G Suite for Education(<https://goo.gl/xrvzJ9>)にアクセス



2



教育委員会名もしくは学校名の入力

- ・ 貴校・貴所で提供している教育の種類を選択

3



ウェブサイトの入力

- ・ xxx.schoolname.com などの URL を記入
- ・ 生徒と教職員の数を選択

4



国と電話番号の入力

- ・ 貴校の所在地 (国) と電話番号の入力

5



住所の入力

- ・ 貴校の郵便番号、都道府県、所在地詳細の入力

6



メールアドレスを入力

- ・ 受信できるメールアドレスを入力

7



ドメイン所有情報

- ・ [使用できるドメインがある]
> 既にドメインをご準備されているドメインで G Suite for Education をご利用する場合
- ・ [ドメインを購入]
> 新規でドメインを購入し、購入したドメインで G Suite for Education をご利用する場合

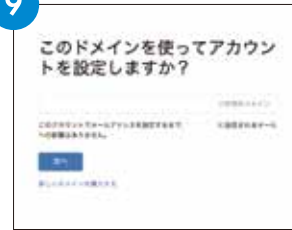
8



ドメイン名を入力

- ・既にお持ちのドメインを入力

9



ドメイン名を確認

- ・使用するドメイン名を確認

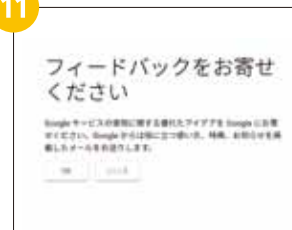
10



ログイン情報を入力

- ・管理者のメールアドレスを作成

11



フィードバック

- ・Google より様々なお知らせなどの受け取りにご協力いただける場合は「OK」をクリック

12



G Suite for Education に関する学校同意書

- ・内容をご確認の上、「同意して続行」をクリック

13



G Suite for Education 申し込み完了

- ・申し込みに関する入力の完了

ドメイン所有権の確認 (*申請後の設定作業)

G Suite のご利用にあたり、ドメインの所有権確認をお願いしています。ドメインとは、ビジネスに関連した名前のついたオンライン上のアドレスです(例: [会社名].com)。ドメインの所有権を確認することで、そのドメインがオンライン サービスで不正使用されたり、メールが貴社からのものであるかのように偽装送信されたりするのを防ぐことができます。

注: G Suite のお申し込みにあわせてドメインをご購入いただいた場合、所有権の確認手続きは不要です。

所有権確認の概要

G Suite の設定の際、ウィザード画面に、ドメインの設定に使う一意の確認レコードが表示されます。ドメインホストにログインし、このレコードを追加してください。ご利用のホストがわからない場合は、ドメインホストを特定する手順をご覧ください。

レコードの追加が Google で確認されると、ドメインの所有権確認のお手続きは完了です。ドメインの所有権確認の詳しい手順を下記に示します。

所有権確認を開始する

ドメインの所有権確認には、TXT レコードのご利用をおすすめします。

なお、ドメインホストによって、TXT レコードの編集が許可されていない場合があります。その際は、次のいずれかの方法をお試しください。

- ・CNAME レコードを追加する
- ・MX レコードを使って確認する
- ・ウェブサイト経由で確認する

サポートを得る

ドメインホストへのログインや確認レコードの追加に関して問題が発生する場合は、ドメインホストのサポートチームにお問い合わせください。

その他のご質問については、G Suite サポートチームにお問い合わせください。お問い合わせは 24 時間年中無休で受け付けております。

G Suite for Education へのアップグレード完了

子どもたちが自ら考え、 誰かと一緒に新しいこたえを導く。



“生徒の意見を瞬時に共有できる”のも「1人1台」だからこそそのメリット。

東京都 国立高校 教諭



受け身だった生徒の学習意識が主体的になり対話や笑顔が多くなった。

埼玉県 県立高校 教諭

インタビュー動画はこちら ▶ g.co/edu/saitamavideo
事例記事はこちら ▶ g.co/edu/saitamaprint



1対1のオンライン英会話が可能となり、生徒の学習意欲の向上もはかれました。

神奈川県 私立中学校 教諭



Wi-Fi すらなかったところから、わずか3か月でICT教育の環境が整備できました。

東京都 私立高校 教諭



生徒全員でも対話ができますし、Chromebookの活用は、新しい授業の形だと思います。

東京都 町田市立小学校 校長

インタビュー動画はこちら
働き方改革編 ▶ g.co/edu/machidavideo
主体的な学び編 ▶ g.co/edu/machidavideo2
事例記事はこちら ▶ g.co/edu/machidaprint



主体的、対話的で深い学びを可能に。

Google for Education

chromebook

利用生徒数 3,000 万人以上。
学習のためのパソコンで ICT 教育を支える。

G Suite for Education

ユーザー数 8,000 万人以上。
AI 搭載の無料ツールで協働学習を叶える。

Google Classroom

利用生徒・先生数 4,000 万人以上。
課題やコミュニケーションの改善を図る。

★ 2017 IDC Survey

簡単

校務や授業準備にかかる時間を約 68 % 削減できる*

手頃な価格

ICT 総合コスト (TCO) を約 61 % 削減できる*

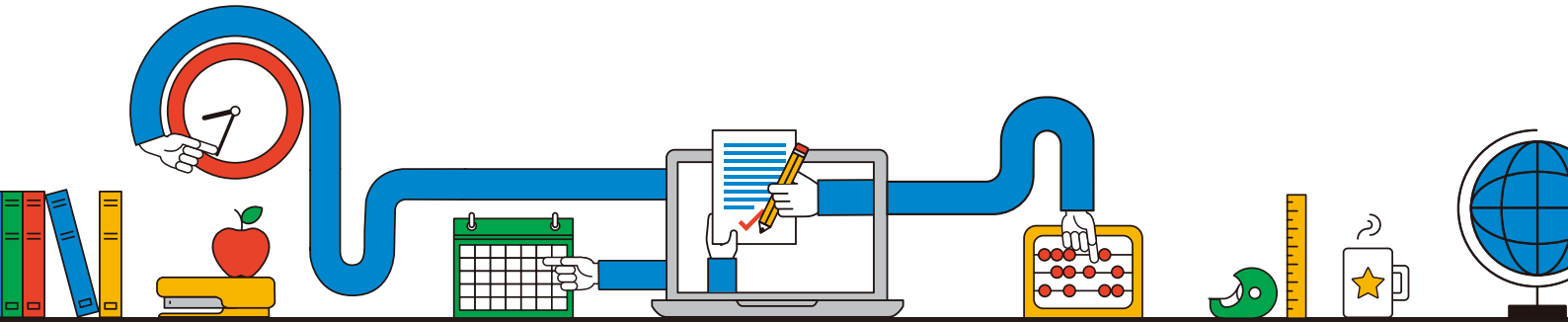
高い汎用性

その場でアイデアを共有、対話を活性化する

高い効果

学力向上につながり、未来スキルが身につく

詳しくはこちら ▶ **【Google for Education お問い合わせ事務局】** 03-6384-9575 (平日 9:00 - 18:00) gfe-jp-isr@google.com
【公式サイト】 <https://edu.google.co.jp>



Google for Education

<https://edu.google.com>

2020 年 3 月版